

F-1 学生の生活環境と人生観(その2) —生活満足度に影響を及ぼす要因—  
奈良女大家政 袖川康子

目的 様々な環境下にある現代の学生達の人生観や価値観を知るにより、これからの学校教育や家庭科教育(特にライフサイクルの分野の取扱い)、または家庭生活のあり方について考えていく。

方法 学校生活、家庭生活、人生観等に関する内容について、近畿圏の学校に通学する男女学生(高校生以上)を対象にアンケート調査を行ない、有効票885を得た。関西支部第53回研究発表会では、性別・学校別に検討した結果を述べたが、今回は、学生達の生活満足度に影響を及ぼすものについて考察するため、アンケート項目と生活満足度のクロス集計を行ない、カイ自乗値、自由度、有意率、クラマーレ係数を求めた。

結果 学生達の生活満足度は、年齢、性別、家族構成等の基本的属性には、あまり影響をうけず、以下のような項目に大きく左右されていることがわかった。すなわち ①人生の目標 ②自分にとって大切なもの(価値観) ③現在の自分の生き方 ④卒業後の進路 ⑤父母の自分への期待 ⑥父母の自分に対する態度 などである。その他、⑦両親との会話の頻度 ⑧家庭の雰囲気 ⑨父の生活態度等とも関連が高く、“親ばなれ、”という言葉が示す、一見クールな、この年代の若者と親との関係が、意外に、彼らの満足度を左右する、重要な鍵になるのではないかと考えられる。